



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月14日

上場会社名 三愛オブリ株式会社
コード番号 8097 URL <https://www.san-ai-obbli.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 隼田 洋
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 野中 英一
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-6880-3100

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	318,066	3.2	8,666	30.1	9,121	28.5	5,640	23.4
2023年3月期第2四半期	308,342	15.6	6,661	43.1	7,096	36.2	4,569	43.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 7,670百万円 (43.5%) 2023年3月期第2四半期 5,343百万円 (44.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	85.04	
2023年3月期第2四半期	66.52	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	207,652	120,270	55.1
2023年3月期	201,244	117,424	55.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 114,402百万円 2023年3月期 111,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		19.00		36.00	55.00
2024年3月期		30.00			
2024年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	660,000	1.9	15,000	1.4	16,000	0.2	10,000	8.3	149.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	68,000,000 株	2023年3月期	68,000,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,431,528 株	2023年3月期	1,034,703 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	66,318,999 株	2023年3月期2Q	68,686,762 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴い、経済活動の正常化が進んだ。

当社グループを取り巻くエネルギー業界においては、旅行などを中心とした個人消費やインバウンド需要の持ち直しにより航空燃料などに需要の回復がみられた。その一方で、物価上昇などによる家計消費の落ち込みが懸念されている。

こうしたなか、当社グループは、中期経営計画「変貌する未来への挑戦 Challenge2030」のもと、低炭素・循環型社会に対応した事業ポートフォリオの構築に向けて人材育成の強化や新規事業の開発に取り組んだ。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、石油製品の販売価格の上昇により前年同期比3.2%増の3,180億66百万円となった。営業利益は、航空関連事業の業績が好調に推移したことにより前年同期比30.1%増の86億66百万円、経常利益は前年同期比28.5%増の91億21百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比23.4%増の56億40百万円となった。

セグメント別の状況は以下のとおりである。

① 石油関連事業

<石油製品販売業>

石油製品販売業においては、販売数量は前年同期並みとなったが、売上高は販売価格が上昇したことにより前年同期を上回った。各部門の状況は以下のとおりである。

石油小売部門では、直営SSでの販売は低調に推移し、販売数量、利益ともに前年同期を下回った。石油卸売部門では、在庫評価による利益が増加したことにより、利益は前年同期を上回った。産業用燃料油販売部門では、新規取引先の獲得に努めたものの、既存取引先への販売数量が減少し、販売数量、利益ともに前年同期を下回った。産業用潤滑油販売部門では、ガスエンジンのメンテナンスや風力発電の内視鏡検査などによる手数料収入が増加したことにより、利益は前年同期を上回った。

以上の結果、石油関連事業における売上高は、販売価格の上昇により前年同期比3.8%増の2,758億77百万円となった。セグメント利益は、石油卸売部門の在庫評価による利益が増加したことにより前年同期比1.5%増の51億46百万円となった。

② 化学品関連事業

<化学品製造販売業>

化学品製造販売業においては、販売数量は製品ごとに増減はあるものの概ね前年同期並みで推移した。製品別の状況は以下のとおりである。

自動車関連商品では、自社製品である撥水コート剤の販売が好調だったことから、利益は前年同期を上回った。防腐・防かび剤では、部品供給不足に伴う自動車関連工場の稼働率低下により、金属加工油用途等への販売数量が減少したものの、利幅の回復により利益は前年同期を上回った。粘着付与剤では、接着剤や梱包テープ用途の販売数量が減少したことにより、利益は前年同期を下回った。なお、石油系溶剤では、販売数量、利益とも前年同期並みで推移している。

以上の結果、化学品関連事業における売上高は前年同期比0.3%減の59億37百万円となった。セグメント利益は、粘着付与剤の利益が減少したことにより前年同期比23.9%減の4億14百万円となった。

③ ガス関連事業

<LPガス販売業>

LPガス販売業においては、販売数量は概ね減少傾向となった。各部門の状況は以下のとおりである。

小売部門では、夏場の猛暑などによって家庭用を中心に単位消費量の減少が見られたものの、新規顧客の獲得と小売営業権買収による顧客軒数の増加や利幅の改善等により、利益は前年同期を上回った。卸売部門では、在庫評価の影響により、利益は前年同期を大きく下回った。

なお、2021年から世界的な電子部品の供給不足により、給湯器をはじめとした住宅設備機器の納期遅延が発生していたが、当事業年度に入り解消されている。

<天然ガス販売業>

天然ガス販売業においては、家庭用の需要は減少したものの、業務用・工業用は新規需要家の獲得により、販

売数量は前年同期を上回った。しかしながら、調達先のコスト増加による仕入価格の上昇により、利益は前年同期を下回った。

以上の結果、ガス関連事業における売上高は、LPガスの販売価格の下落により前年同期比12.0%減の243億56百万円となった。セグメント利益は、卸売部門の在庫評価の影響によって利益が減少したことにより前年同期比64.8%減の2億70百万円となった。

④ 航空関連事業

<航空燃料取扱業>

航空燃料取扱業においては、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことや海外からの入国者に対する水際対策が緩和されたことに伴い、航空需要は好調に推移した。

羽田空港における航空需要は、国内線ではコロナ禍前の2019年度と概ね同水準で推移し、国際線では訪日外国人の増加により大幅に増加した。これにより、国内線と国際線を合わせた燃料取扱数量は、コロナ禍前の2019年度比で約15%の増加となった。

以上の結果、航空関連事業における売上高は、羽田空港における燃料取扱数量の増加により前年同期比61.5%増の94億60百万円となった。セグメント利益は43億56百万円（前年同期は11億30百万円のセグメント利益）となった。

⑤ その他事業

<その他>

その他事業においては、金属製品等の洗浄・表面処理業では、半導体市場の縮小に伴う半導体メーカーの生産調整等により、精密洗浄処理の受注が低調に推移し、売上高は前年同期を下回った。また、大型物件の受注が低調であったことから建設工事業の売上高も前年同期を下回った。

以上の結果、その他事業における売上高は、金属製品等の洗浄・表面処理業が低調に推移したことにより前年同期比18.6%減の24億34百万円となり、セグメント利益は前年同期比53.3%減の2億92百万円となった。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ64億7百万円増加し、2,076億52百万円となった。これは主に、投資有価証券の時価が上昇したことによるものである。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ35億61百万円増加し、873億81百万円となった。これは主に、支払手形及び買掛金が増加したことによるものである。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ28億46百万円増加し、1,202億70百万円となった。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものである。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の55.5%から55.1%となった。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億18百万円減少し464億29百万円となった。

当第2四半期連結結果計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりである。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は110億38百万円となった。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上によるものである。なお、獲得した資金は前年同期比54億95百万円増加している。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は45億95百万円となった。これは主に、有形固定資産の取得によるものである。なお、使用した資金は前年同期比18億16百万円増加している。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は67億60百万円となった。これは主に、配当金の支払いおよび自己株式の取得によるものである。なお、使用した資金は前年同期比35億43百万円増加している。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年5月11日に公表した数値を修正していない。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,017	46,699
受取手形、売掛金及び契約資産	43,144	43,663
有価証券	—	100
商品及び製品	7,542	8,720
仕掛品	85	120
原材料及び貯蔵品	146	137
その他	919	1,993
貸倒引当金	△475	△478
流動資産合計	98,380	100,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	69,516	70,831
減価償却累計額	△49,704	△50,478
建物及び構築物(純額)	19,812	20,352
機械装置及び運搬具	34,671	36,655
減価償却累計額	△27,695	△28,299
機械装置及び運搬具(純額)	6,976	8,355
土地	18,420	18,792
その他	11,512	10,612
減価償却累計額	△5,199	△5,498
その他(純額)	6,312	5,114
有形固定資産合計	51,522	52,614
無形固定資産		
のれん	1,683	1,808
顧客関連資産	1,093	1,048
その他	3,419	3,923
無形固定資産合計	6,197	6,780
投資その他の資産		
投資有価証券	17,140	19,194
退職給付に係る資産	1,991	2,226
差入保証金	24,865	24,858
その他	1,242	1,113
貸倒引当金	△96	△95
投資その他の資産合計	45,143	47,297
固定資産合計	102,863	106,693
資産合計	201,244	207,652

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,908	47,235
短期借入金	300	300
1年内返済予定の長期借入金	2,346	1,443
未払法人税等	3,530	2,533
賞与引当金	2,041	1,825
役員賞与引当金	89	39
完成工事補償引当金	0	0
その他	14,234	17,913
流動負債合計	67,453	71,291
固定負債		
長期借入金	2,115	1,392
役員退職慰労引当金	208	179
特別修繕引当金	217	228
退職給付に係る負債	117	116
資産除去債務	609	611
その他	13,098	13,560
固定負債合計	16,366	16,089
負債合計	83,819	87,381
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,127	10,127
資本剰余金	2,531	2,533
利益剰余金	97,862	101,092
自己株式	△1,280	△3,477
株主資本合計	109,241	110,274
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,338	5,830
土地再評価差額金	△612	△613
退職給付に係る調整累計額	△1,228	△1,090
その他の包括利益累計額合計	2,496	4,127
非支配株主持分	5,686	5,868
純資産合計	117,424	120,270
負債純資産合計	201,244	207,652

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高		
商品売上高	306,991	316,965
完成工事高	1,350	1,101
売上高合計	308,342	318,066
売上原価		
商品売上原価	279,437	286,398
完成工事原価	1,171	952
売上原価合計	280,609	287,350
売上総利益	27,733	30,716
販売費及び一般管理費	21,071	22,049
営業利益	6,661	8,666
営業外収益		
受取利息	21	26
受取配当金	244	254
仕入割引	112	110
軽油引取税交付金	80	82
貸倒引当金戻入額	—	0
その他	166	134
営業外収益合計	624	609
営業外費用		
支払利息	47	45
売上割引	83	87
その他	58	22
営業外費用合計	188	154
経常利益	7,096	9,121
特別利益		
固定資産売却益	20	38
投資有価証券売却益	85	—
特別利益合計	106	38
特別損失		
固定資産除売却損	23	137
減損損失	0	4
特別損失合計	24	142
税金等調整前四半期純利益	7,179	9,017
法人税、住民税及び事業税	2,117	2,787
法人税等調整額	129	183
法人税等合計	2,247	2,970
四半期純利益	4,931	6,046
非支配株主に帰属する四半期純利益	362	406
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,569	5,640

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	4,931	6,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	448	1,484
退職給付に係る調整額	△35	138
その他の包括利益合計	412	1,623
四半期包括利益	5,343	7,670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,975	7,270
非支配株主に係る四半期包括利益	368	399

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,179	9,017
減価償却費	2,582	2,671
のれん償却額	176	207
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△161	△215
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△37	△50
退職給付に係る資産又は負債の増減額	△70	△35
受取利息及び受取配当金	△377	△392
支払利息	130	132
有形固定資産除売却損益 (△は益)	1	92
減損損失	0	4
投資有価証券売却損益 (△は益)	△85	—
売上債権の増減額 (△は増加)	8,628	△519
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△819	△1,204
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△940	△1,073
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,093	2,327
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△6	3,563
その他	△3	33
小計	8,102	14,560
利息及び配当金の受取額	366	373
利息の支払額	△144	△146
法人税等の支払額	△2,781	△3,748
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,542	11,038
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△163	△312
投資有価証券の売却による収入	742	—
有形固定資産の取得による支出	△2,142	△3,412
有形固定資産の売却による収入	62	206
無形固定資産の取得による支出	△1,279	△988
その他	0	△88
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,779	△4,595
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△573	△1,626
自己株式の取得による支出	△351	△2,208
非支配株主への配当金の支払額	△213	△217
配当金の支払額	△1,787	△2,410
その他	△291	△297
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,216	△6,760
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△453	△318
現金及び現金同等物の期首残高	37,996	46,747
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,543	46,429

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項なし。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,404,900株の取得を行った。この取得等により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が2,196百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が3,477百万円となっている。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	石油関連事業	化学品関連事業	ガス関連事業	航空関連事業	その他事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	265,865	5,956	27,672	5,858	2,989	308,342	—	308,342
セグメント間の内部売上高または振替高	1,010	175	27	—	260	1,473	△1,473	—
計	266,875	6,131	27,700	5,858	3,249	309,815	△1,473	308,342
セグメント利益	5,070	545	767	1,130	625	8,139	△1,042	7,096

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,042百万円には、セグメント間取引消去33百万円および各報告セグメントに配分していない全社利益△1,076百万円が含まれている。全社利益は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、営業外収益および営業外費用である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っている。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	石油関連事業	化学品関連事業	ガス関連事業	航空関連事業	その他事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	275,877	5,937	24,356	9,460	2,434	318,066	—	318,066
セグメント間の内部売上高または振替高	785	170	21	0	338	1,316	△1,316	—
計	276,663	6,108	24,377	9,460	2,773	319,383	△1,316	318,066
セグメント利益	5,146	414	270	4,356	292	10,479	△1,358	9,121

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,358百万円には、セグメント間取引消去27百万円および各報告セグメントに配分していない全社利益△1,385百万円が含まれている。全社利益は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、営業外収益および営業外費用である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っている。

(重要な後発事象)

重要な自己株式の取得

当社は、2023年11月14日開催の取締役会において、同年5月11日開催の取締役会決議に基づく自己株式取得は11月14日をもって中止することを決議し、同日付で終了した。また、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、新たに自己株式取得に係る事項を決議した。

1. 自己株式の取得中止に係る事項

(1) 自己株式取得を中止する理由

本取得の上限金額までの額が僅少となり、新たな決議に基づき自己株式取得をおこなうため。

(2) 2023年5月11日開催の取締役会における決議内容

- | | |
|--------------|---|
| ① 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 取得し得る株式の総数 | 2,000千株 (上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.99%) |
| ③ 株式の取得価額の総額 | 2,800百万円 (上限) |
| ④ 取得期間 | 2023年5月12日～2024年3月31日 |
| ⑤ 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付 |

(3) 上記取締役会決議日以降取得した自己株式の累計

- | | |
|-------------|----------------|
| ① 取得した株式の総数 | 1,738,200株 |
| ② 取得価格の総額 | 2,737,257,900円 |

2. 自己株式の取得に係る事項の決定

(1) 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため。

(2) 取得内容

- | | |
|--------------|---|
| ① 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 取得し得る株式の総数 | 1,000千株 (上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.53%) |
| ③ 株式の取得価額の総額 | 1,600百万円 (上限) |
| ④ 取得期間 | 2023年11月15日～2024年3月31日 |
| ⑤ 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付 |